

第6学年1組 国語科学習指導案

美浦村立木原小学校 宮本 聡

1 単元名 ヒロシマのうた

2 指導観

- ・教材文「ヒロシマのうた」は、原爆投下後の地獄絵のような状況の中で「わたし」と出会った赤ん坊がやがて「ヒロ子」として、困難を乗り越え、前向きに力強く生きていこうとする姿が描かれている。
- ・交流活動を意欲的に取り組む児童は多いが、自信をもって自分の考えを表現できる児童は少ない。
- ・本文を拡大したデジタル教科書や語句の説明が出る自主制作教材を用いて、叙述に即した読み取りができるようにしたい。
- ・TV 会議を通して、本文をもとにして読み取ったことを比較し合うことにより、自分の読みを深めることができるようにしたい。

3 学習計画（9時間扱い）

次	学 習 活 動	
1次	①全文を通読し、初発の感想を書く。	②戦争について調べたり GT から話を聞いたりする。
2次	③原爆投下後の情景や登場人物の心情を読み取る。	④7年後の情景や登場人物の心情を読み取る。
	⑤15年後の情景や登場人物の心情を読み取る。	⑥テレビ会議を通して自分の考えを深める。
3次	⑦⑧戦争中の人の生き方について書かれた本を選び、紹介文を書く。	⑨紹介文を友だちに見せ、交流する。

4 本時に使用する ICT 機器と場面

使用する ICT 機器	活用場面	□課題の提示	□動機付け	□教員の説明資料
<ul style="list-style-type: none"> ・スライド式電子黒板 ・ユニット型電子黒板 ・書画カメラ ・プロジェクター ・自主制作教材（本文） 		<ul style="list-style-type: none"> ■学習者の説明資料 □モデルの提示 ■比較 ■その他（交流活動） 	<ul style="list-style-type: none"> □繰り返しによる定着 □失敗例の提示 □振り返り 	<ul style="list-style-type: none"> □体験の想起 □体験の代行

5 本時の目標と ICT 活用のねらい

本時の目標	美浦村内（安中）小学校とのテレビ会議を通して、本文を読んで考えたことを話し合うことにより、多様な考え方を見い出すことができる。
ICT活用のねらい	テレビ会議を通して、学び合いを広げることにより、多様な考えが生み出せるようにする。

6 本時の展開

時間	学習活動及び内容	指導上の留意点（□ICT活用のねらいに対する支援）
5	1 課題を提示する。 <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 安中小学校とのテレビ会議を行い、自分の考えを広げよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習課題、テレビ会議で話し合う議題は両校とも統一したものを提示する。 ・テレビ会議を行うにあたり、あいさつや適切な言葉遣いができるよう伝える。 ・事前にワークシートを配布し、話し合いの議題に対する自分の考えを書き込ませる。
25	2 テレビ会議を行う。 ≪話し合いの議題≫	<ul style="list-style-type: none"> ・学級の中で解決できなかったところを議題として、話し合いを行っていく。

	<ul style="list-style-type: none"> お母さんは何がおそろしかったのか？（教科書61ページ9行目） なぜ「わたし」はふしぎな気持ちになったのか？（教科書68ページ7行目） 	<ul style="list-style-type: none"> Webカメラの代わりに、書画カメラを用いて電子黒板に写しながらテレビ会議を行い、議題について話し合わせる。 全員の顔が見えるようにするため、机は後方に寄せ、書画カメラの前に椅子に座った状態で集まるようにする。 話し合いの途中、各校で話し合いを行った方が良い場合は、交信を止め、各学級で話し合いをする時間をもつようにする。 <ul style="list-style-type: none"> 話し合いの際には、司会者を決め、司会者を中心に進行していくように伝える。 3色（赤・青・黄）の手札を用意し、個人の考えが見た目でもわかるようにする。 叙述に即した読み取りを行えるようにするため、デジタル教科書の本文をプロジェクターで拡大し、ユニット型電子黒板に写すようにする。 <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返るために、読み取りの際に使用したワークシートを手に持ちながら、話を聞くよう伝える。 友だちの意見に共感したときは、自分のワークシートに意見を書き加えても良いことを伝える。
13	3 きらきらを行い、書いたことを発表する。	<ul style="list-style-type: none"> テレビ会議の中で話し合ったことをもとにして自分の考えを再度振り返らせる。
2	4 次時の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> きらきらで書いたワークシートを書画カメラで写し、発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> 戦争に関連する本を読み、ミニ読書感想文を行うことを伝える。

7 ICT活用の評価

ICTの活用	ABC	評価内容
・書画カメラ	A	テレビ会議を行うため、WEBカメラの代わりに書画カメラを活用したり、発表の際、児童のワークシートを写しながら発表させたりすることができた。
・スライド式電子黒板 ・自主制作教材	B	スライド式電子黒板は相手校を写したり、ワークシートを拡大させたりと多様な活用をすることができた。自主制作教材は、語句をクリックすると、その意味がわかるようになっており、読み取りの際の補助教材となった。
・ユニット型電子黒板 ・プロジェクター	C	ユニット型電子黒板で本文などを写したが、使用する場面が限られた。使用頻度から設置場所を工夫していくことができるように改善を図りたい。

8 ICTの設置図

